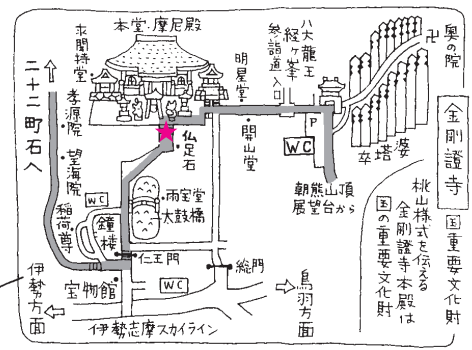
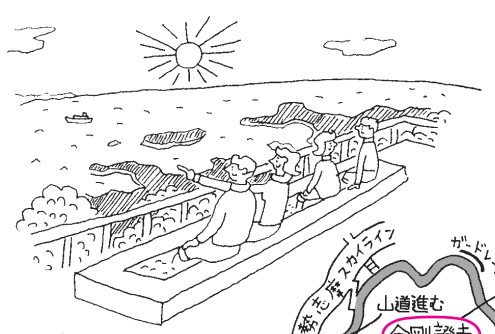


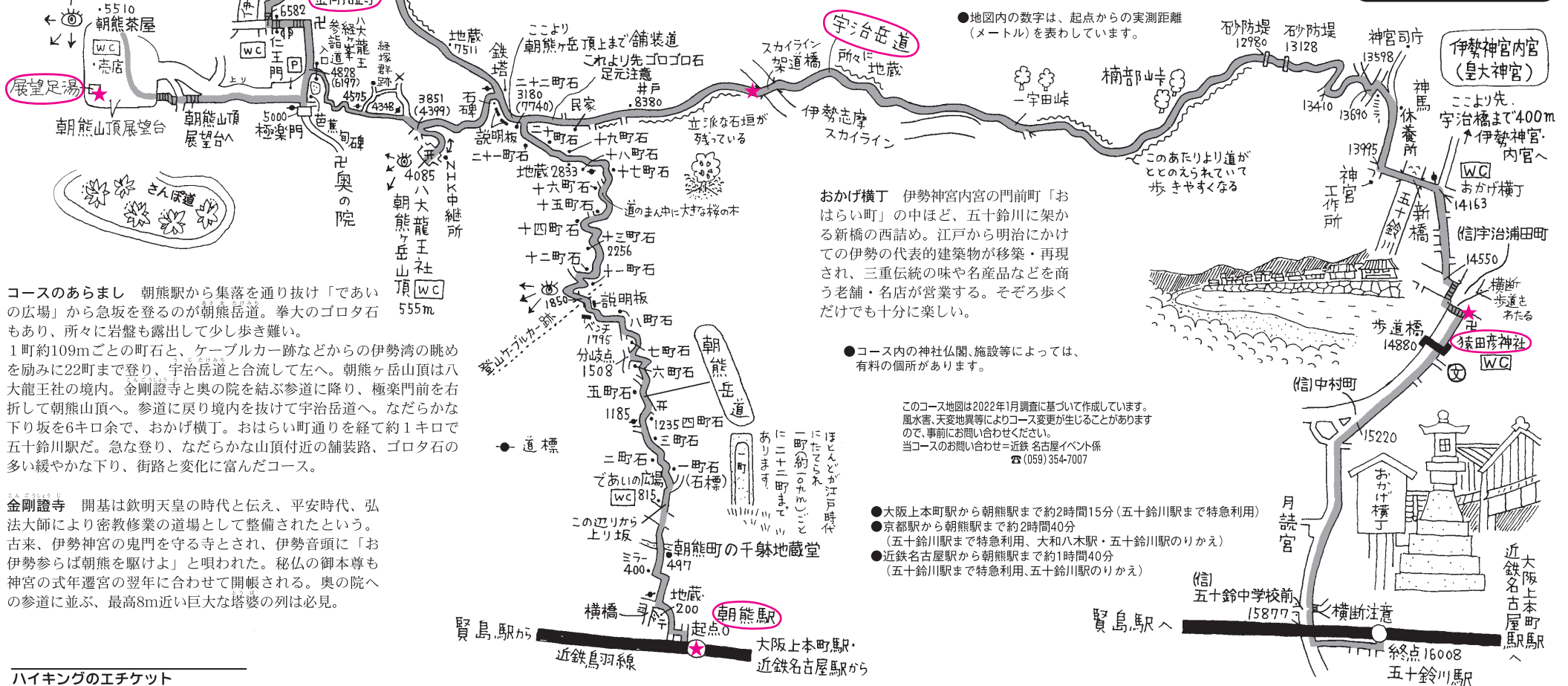
●てくてくまつぶはイラストマップ  
ですので、お出掛けの際は詳しい  
地図を各自でご用意ください。

近鉄あみま倶楽部の  
情報は  
コチラ→

**朝熊山頂** コースには伊勢湾の絶景を  
楽しめる場所が数カ所あるが、この山  
頂が最高。伊勢湾側では鳥羽市街や答  
志島の向こう、伊勢湾越しに知多半島  
や渥美半島、左手には宮川河口から津、  
四日市の街、右手には遠州灘の海岸線  
から遠く伊豆半島、天気さえ良ければ  
富士山まで望める。そんな景色と同時  
に足湯まで楽しめる(有料)休憩適所。

**宇治岳道** 金剛證寺から内宮に至る緩  
やかな道で、昭和39年まではバスが走  
っていたという古道。沿道に残る立派  
な石垣が、往時の茶屋などの繁栄を偲  
ばせる。尾根筋を行くので、いつにな  
ると下山できるのかと思うほど緩やか  
だが、小さな堰堤状の構造物を過ぎる  
とすぐに神宮の建物が見えてくる。



**コースのあらまし** 朝熊駅から集落を通り抜け「であいの広場」から急坂を登るのが朝熊岳道。拳大のゴロタ石もあり、所々に岩盤も露出して少し歩き難い。  
1町約109mごとの町石と、ケーブルカー跡などからの伊勢湾の眺めを励みに22町まで登り、宇治岳道と合流して左へ。朝熊ヶ岳山頂は八大龍王社の境内。金剛證寺と奥の院を結ぶ参道に降り、極楽門前を右折して朝熊山頂へ。参道に戻り境内を抜けて宇治岳道へ。なだらかな下り坂を6キロ余で、おかげ横丁。おはらい町通りを経て約1キロで五十鈴川駅だ。急な登り、なだらかな山頂付近の舗装路、ゴロタ石の多い緩やかな下り、街路と変化に富んだコース。

**金剛證寺** 開基は欽明天皇の時代と伝え、平安時代、弘法大師により密教修業の道場として整備されたという。古来、伊勢神宮の鬼門を守る寺とされ、伊勢音頭に「お伊勢参らば朝熊を駆けよ」と唄われた。秘仏の御本尊も神宮の式年遷宮の翌年に合わせて開帳される。奥の院への参道に並ぶ、最高8m近い巨大な塔婆の列は必見。

**ハイキングのエチケット**  
\*ゴミはまとめて持ち帰りましょう。  
\*山火事防止のためタバコに注意しま  
しょう。  
\*大切な自然です。植物の採集はつま  
みまじょう。

●約16キロ〔朝熊駅～朝熊山頂～宇治岳道～おかげ横丁～五十鈴川駅〕

# あさまたけみち うじたけみち 朝熊岳道・宇治岳道コース

きれいな思い出 きれいな自然  
ゴミや空き缶は、持ちかえりまじょう